

御笠川浄化センター

最終沈殿池(Ⅳ-1-1・2)修繕工事

特記仕様書

令和7年度

(公財)福岡県下水道管理センター

# 目 次

	頁
第1章 総 則 -----	1
第1節 一般事項 -----	1
第2章 工事対象 -----	2
第3章 修繕内容 -----	2
第1節 修繕の目的 -----	2
第2節 対象機器仕様 -----	2
第3節 修繕内容 -----	3
第4章 その他 -----	4

## 第1章 総 則

### 第1節 一般事項

#### 1. 概 要

本工事は御笠川浄化センター最終沈殿池(IV-1-1・2)修繕に関するもので、その内容は下記の通りである。

本修繕工事の施工範囲は、終沈汚泥掻寄機の整備・試運転調整並びにそれに生じる手直しまでの一切を行なうものとする。また、他処理施設を運用しながらの工事となるため、施工に際しては管理者と綿密に打ち合わせを実施し工程を組むこと。施工場所によっては、工事に伴う仮設作業も必要となるため、本工事に於いて実施すること。

本工事の技術的な内容は、添付図面及び本仕様書に記すものであるが、受注者は細心にして良心的、かつ高度の技術をもって修繕を行うこと。なお、添付図面または特記仕様書が合致しない場合、および疑義を生じた場合は、管理センター監督員との協議によるものとする。

#### 2. 施工責任

本工事は、受注者における責任施工とし、特に本仕様書に明記していない部分について、運転管理上および設備上必要なものについては、一切受注者の負担とし、責任をもって施工すること。

また、試運転の結果不備な点があれば、全て監督員指示通りの補修および取り替えを行なうものとする。

#### 3. 留意事項

- (1) 本修繕工事を施工するに当たり、適用となる各規格・基準・法令等については、これを遵守し、遺漏の無いよう努めること。
- (2) 修理対象を十分に理解し、短期間で施工できるよう努めること。また、詳細工程については監督員と事前打合せの上決定すること。
- (3) 施工範囲には重量物、可燃物、また稼動機器等が含まれるので、施工に当たっては安全に十分留意すること。
- (4) 資格が必要な作業、機器操作等については必ず、有資格者が行うこと。
- (5) その他本仕様書及び修繕工事仕様書に記載なき事項については、修繕工事一般仕様書による。
- (6) 工事に際して発生する産業廃棄物やスクラップについては、適切に処分を実施し、その処理結果報告を行うこと。
- (7) 工事着手にあたり、設備の詳細な点検を行い、修繕対象以外の不具合項目が無いか、十分に確認すること。また、追加の部品等が発生した場合は、監督員と協議すること。
- (8) 工事対象の最終沈殿池は反応槽が上部にある二層構造となっている。地上部からの高低差が16.4mと大きいいため、作業員・部材の墜落・落下事故に対する安全対策を行うこと。

## 第2章 工事対象

### 1. 工事名称

御笠川浄化センター 最終沈殿池（IV-1-1・2）修繕工事

### 2. 工事場所

福岡市博多区那珂4-5-1 御笠川浄化センター

### 3. 工事概要

最終沈殿池（IV-1-1・2）汚泥掻寄機修繕

1式

## 第3章 修繕内容

### 第1節 修繕の目的

令和6年度中に設備不具合によりフライト板の一部が折損したため、修繕を行うもの。

### 第2節 対象機器仕様

#### （1）IV-1 終沈汚泥掻寄機 2組

##### 【掻寄機本体】

形式： チェーンフライト式

池寸法： 4,300mmW×38,750mmL×4,000～4,400mmH(1水路)

掻寄速度： 0.6m/min

電動機： 1.5kW、60Hz、440V×3φ

フライト： 2,950mmL×220mmH×50mmW

駆動方式： 2水路1駆動

### 第3節 修繕内容

#### (1) 掻寄機部品交換

下記部品について交換を行うこと。

#### IV-1-1・2 掻寄機交換部品リスト

##### 減速機

1	サイクロ減速機 (トルクリミット値の設定変更要)	CVVM2-6215DA-EPTL-3045	台	2
---	-----------------------------	------------------------	---	---

##### チェーン

1	主務チェーン SV15219-B PL	1020L×4+80L	リンク	4080
2	主務チェーン SV15219-B SF-4att(730 相当)	116L×4+32L	リンク	464

##### フライト (1) (フライト全体の内、半数交換)

1	フライト	220×50×3200L FFU	本	29
2	フライト (ゴム板取付穴加工)	220×50×3200L FFU	本	29
3	当て板	P2×115×140 SUS304	個	116
4	ワッシャー(半数フライト取付)	P2×φ40 SUS304	個	1914
5	六角ボルト(半数フライト取付)	M12×90L 2N 共 SUS304	組	928
6	六角ボルト(半数フライト取付)	M12×95L 2N 共 SUS304	組	1914
7	フライトゴム(半数フライト取付)	t10×70×350 NBR	枚	116
8	フライトゴム(半数フライト取付)	t10×70×2300 NBR	枚	58
9	押え板	t2×32×350 SUS304	個	116
10	押え板	t2×32×2050 SUS304	個	58

##### フライト (2) (フライト全体の内、半数交換)

1	フライト	220×50×2950L FFU	本	29
2	フライト (ゴム板取付穴加工)	220×50×2950L FFU	本	29
3	当て板	P2×115×140 SUS304	個	116
4	ワッシャー(半数フライト取付)	P2×φ40 SUS304	個	1798
5	六角ボルト(半数フライト取付)	M12×90L 2N 共 SUS304	組	928
6	六角ボルト(半数フライト取付)	M12×95L 2N 共 SUS304	組	1798
7	フライトゴム(半数フライト取付)	t10×70×350 NBR	枚	116
8	フライトゴム(半数フライト取付)	t10×70×2300 NBR	枚	58
9	押え板	t2×32×350 SUS304	個	116
10	押え板	t2×32×2050 SUS304	個	58

##### 50 幅用フライトシュー (全数交換)

1	シュー	SCS13	個	464
2	シュー (勝手反対)	SCS13	個	464

## ガイドレール

1	座板	9t×65×160 SUS304	個	4
2	ガイドレール S-7	[150×75×6.5t-2215L, L75×9t×1851L, [150×75×6.5t-200L	式	1
3	ガイドレール S-8	[150×75×6.5t-2240L, L75×9t×1851L, [150×75×6.5t-200L	式	1
4	六角ボルト	M12×50L 2N, 勾配座金共 SUS304	組	8

### (2) 塗装仕様

水中軸、駆動軸等、本工事で新品交換しない部材は現場塗装を行う。塗装仕様は次のとおり。

- ・塗膜が劣化若しくは剥離して、耐食性能が維持できないと判断される部位については2種ケレンを行い、下表の塗装を行う。

区分	回数	種類	標準塗膜厚(μm)
1層目	1	ジンクリッチペイント(有機)	75
2層目	1	エポキシ樹脂系塗料(水中部用)	100
3層目	1	エポキシ樹脂系塗料(水中部用)	100
4層目	1	エポキシ樹脂系塗料(水中部用)	100

- ・塗膜の劣化若しくは剥離等が無い部位については、塗料の付着に支障がないように現行の塗膜表面を洗浄して、下表の塗装を行う。

区分	回数	種類	標準塗膜厚(μm)
1回目	1	エポキシ樹脂系塗料(水中部用)	100
2回目	1	エポキシ樹脂系塗料(水中部用)	100

※塗装の劣化判定が困難な場合は、監督員と協議のうえ決定する。

- ・塗装色は、各層毎に色分けを行い、工程が確認できるようにすること。  
 ※1回目(3層目)指定色:色票番号 FN-95(マンセル N-9.5 相当)≒白色  
 ※2回目(4層目)指定色:色票番号 FN-10(マンセル N-1.0 相当)≒黒色  
 ※下塗(1層目、2層目)の塗装色については、メーカー標準色とする。
- ・塗装に当っては、気温、湿度、塗装間隔などに注意し施工する。
- ・塗装方法は、エアレススプレー又はハケ塗りとする。

## 第4章 その他

- (1) 部品製作について、製作前に現況と図面とを照合し相違がある場合は監督員と協議を行うこと。
- (2) 見積時にはフライト材質については既設のFFUから、FRPに変更も可としたが、フライト製作寸法が異なることとなり、フライト全数の交換が必要となるため、FFUでの半数更新とする。更新するフライトは現場にて、劣化の度合いが進んで

いるものから選定する。再使用に耐えうると判断されたフライトについては、簡易洗淨の後、監督員の場内指定個所に予備品として搬出・保管すること。